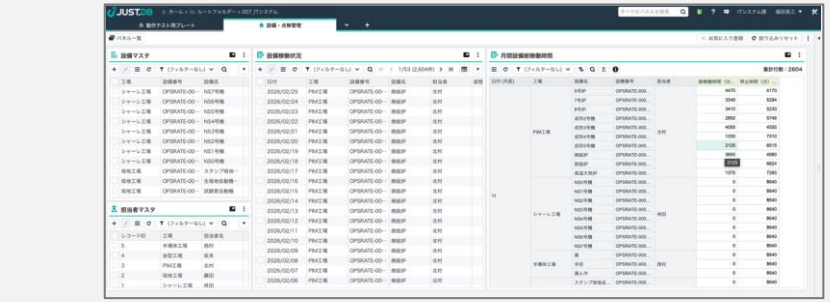
工場IOT機器の導入拡大による現場の見える化の促進事業

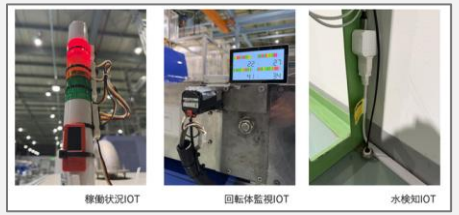
1 概要

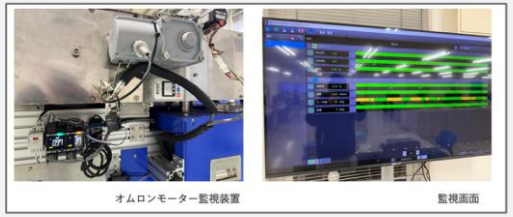
令和6年度に安価なマイコンとセンサーによる工場設備のデータ収集とノーコードツールによる収集データの分析を行い、同時にマイコンの使い方やデータ分析に関する社員のスキルアップを行った。今年度は工場設備の状態の更なる見える化を行うため、全社にネットワーク構築するとともに、IoT機器を拡大設置する。

2 実施内容

昨年度、一部の工場設備の稼働状況見える化に取り組んできたが、今回補助金を活用し、従来成果の他設備への横展開に取り組んだ。①データ収集と活用のためサーバPCを新規導入。②工場内のデータトラフィックの負荷分散のためWiFi環境を整備。③PLCやIoTのデータをサーバPCに集約し一元管理できる仕組みを構築。④モーター監視装置を重要設備モーターに設置、監視内容を分析できる環境を構築。⑤ノーコードツールを導入し、データ分析を容易に行える環境を構築。各設備にデータ収集を行うためのIoT機器を増設。







3 成果

今回の事業を元に、ネットワークインフラからデータ取得のための新サーバ設置、IoT 機器の新たな設置とそれを利用できるノーコードツールの導入をしたことにより、課題であったIoT 機器と既存FA システムを一元管理出来るようになり、さらに多くのデータ活用が行える環境を構築できた。ノーコードツールの導入によりデータの見える化も進展、データ可視化方法の幅も広がり、同時にコスト削減にも繋がった。